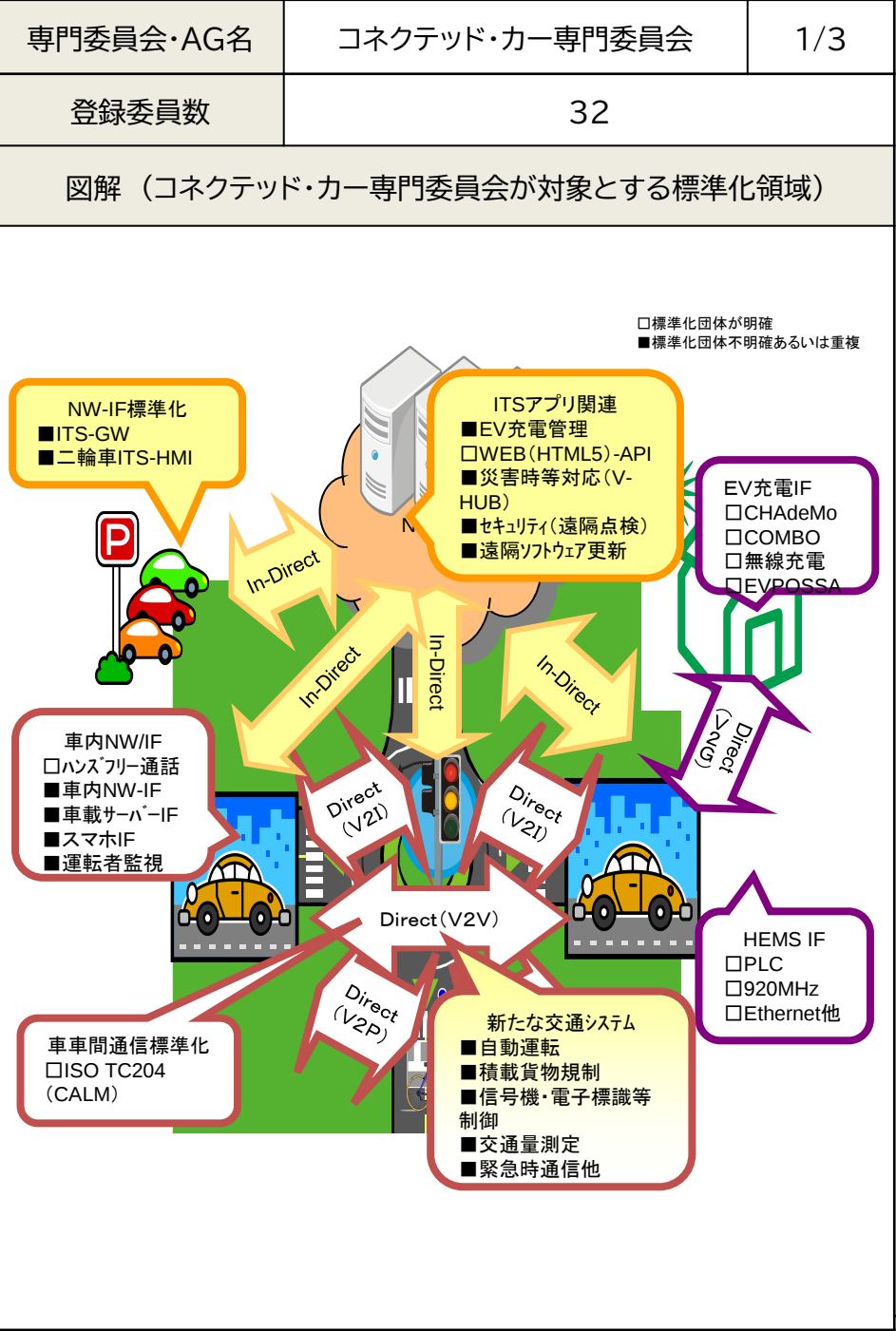


中期標準化戦略（概要と目的）

企画戦略委員	コネクテッド・カー専門委員会担当：樽屋 克彦
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	委員長：千村 保文（OKI） / 副委員長：鈴木 邦一（デンソー）
活動の目的・意義	- クルマがネットワークにつながる時代が到来した。本専門委員会では、クルマ同士あるいはクルマとネットワークインフラや他のネットワークアプリケーションとつながることによる課題を中心に検討する。 - 日本では、ETCやITSスポットなど全国規模でのITSサービスを実現している。しかし、これらのシステムの国際展開は道路環境の違いや無線方式の差異などにより実現しておらず今後の課題である。 2011年3月11日の東日本大震災等の災害経験から、自動車を災害時の情報通信のハブ（V-HUB）とすることへの期待は大きい。そこで、2014年8月にTTCより日本での取り組みをベースにアジア標準を策定することをASTAPへ提案し2018年に勧告化。この標準の利活用に向けてCIAJと連携し、ガイドラインを策定した。今後は、社会実装に向けての改訂を図る。 - 日本でのリコールの約30%はソフトウェアが原因と言われており、遠隔での自動車の保守が必要。そのためには、遠隔での自動車の診断、保守に必要な通信標準の策定が必要。そこで標準化動向の調査レポートを発行するとともに、SG17のX.1373rev策定を支援する。 - コネクテッド・カーの通信技術として5Gなどの広域通信とDSRCなどの狭域通信を共用することによる都市レベルでの事故防止や渋滞回避へ貢献するための実証実験が世界中の各都市で始まっている。この状況を調査し、標準化テーマを模索中。
活動する上での課題 （人材面や運用面での課題を含む）	- 自動車関連業界団体との緊密な情報連携、急速に変化する市場動向のウオッチ - 活動メンバーが限定的であり、テーマの拡充に伴ってメンバーの強化が課題
関連のSDGsゴール	
標準化方針	[アップストリーム活動] - CITSへの自動車通信分野の標準化課題の提言等 [TTCドキュメント制定] - ASTAP「災害時の自動車活用した情報通信システム(V-HUB)」の国内技術レポート、利活用ガイドライン策定と改訂 - 自動車関連団体(JAMA、JSAE、JASPAR)との課題共有、X.1373rev策定支援
国内外の標準化団体等の動向	- ITU-T SG16/Q27およびSG17/Q13にてITS(高度道路交通システム)の標準化に対応 - ISOでは、TC204/TC22などで標準化対応中。CITSにて標準化団体間連携実施中。 - 国内では、JSAE、JASPAR、ITS-Japanなどと連携を図っている。



中期標準化戦略（2022年度重点取り組みと活動報告）				専門委員会・AG名	コネクテッド・カー専門委員会	2/3
新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	コネクテッド・カーに関する最近の国内外の動向に注視し、以下の標準化活動を実施 (1) 災害時ITS応用:自動車を用いた防災・減災システム(VHUB)の社会実装に向けて、CIAJと連携し、利活用ガイドラインを策定 (2) ITSセキュリティ:セキュリティ専門委員会と連携し、V2Xに関するセキュリティガイドライン(X.1373rev)の策定を支援 (3) 広域通信(5Gなど)と狭域通信(DSRC)を活用した都市全般を対象とする事故防止や渋滞解消に向けた交通システムの実用化に向けた取り組みの調査 (4) 5GにおけるV2X:5Gを活用したV2Xの標準化動向について、移動通信網マネジメント専門委員会と連携して、5GMF Connected Vehicle adhocに参加し、意見交換、調査を実施					
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・マルチメディア応用専門委員会(SG16、FG-VM、FG-AI4AD) ・セキュリティ専門委員会(SG17での連携)					
主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事		
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	1件	3件			
	外部会合への参加・連携状況	・CITS 1件	・CITS 3月会合に活動状況報告 ・ASTAP-34 活動状況報告 ・CITS 9月会合に活動状況報告			
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準					
	TS/TR/SR	0件/2件/0件 ・V-HUB利活用ガイドライン 2件	0件/2件/0件 ・TR-1089 V-HUB利活用ガイドライン 概要編 ・TR-1090 V-HUB利活用ガイドライン 運用編			
③ ダウンストリーム	数	TS: 0件 TR: 0件	TS: 0件 TR: 0件:			
④ プロモーション 普及推進	セミナー	2回 ・V-HUB利活用ガイドライン発行セミナー ・CEATEC2022コンファレンス	2回 ・6/28 V-HUB利活用ガイドライン発行セミナー(CIAJ共催) ・10月 CEATEC2022 ビデオセミナー(CIAJ共催)			
	記事投稿、講演会		プレスリリース 1件 ・CIAJ V-HUB利活用ガイドライン発行プレスリリースにエンドース(2022/5/30) TTCLレポート記事 2件 ・TTC/CIAJ共催オンラインセミナー「災害時の自動車を用いた情報通信システムと防災訓練」開催記事 ・CEATEC2022オンライン講演「災害時の自動車を用いた情報通信(V-HUB)の利活用に向けたガイドラインの紹介」開催記事			

中期標準化戦略（2023年度重点取り組みと活動予定）			専門委員会・AG名	コネクテッド・カー専門委員会	3/3
新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	コネクテッド・カーに関する最近の国内外の動向に注視し、以下の標準化活動を実施 (1) 災害時ITS応用:自動車を用いた防災・減災システム(V-HUB)の社会実装に向けて、CIAJと連携して策定した利活用ガイドラインの改訂 (2) ITSセキュリティ:セキュリティ専門委員会と連携し、V2Xに関するセキュリティガイドライン(X.1373rev他)の策定、改訂を支援 (3) 広域通信(5Gなど)と狭域通信(DSRC)を活用した都市全般を対象とする事故防止や渋滞解消に向けたスマートシティにおける課題解決に向けた取り組みの調査 (4) 5GにおけるV2X:5Gを活用したV2Xの標準化動向について、移動通信網マネジメント専門委員会と連携して、5GMF Connected Vehicle adhocに参加し、意見交換、調査を実施				
関連する専門委員会または外部組織とその内容	・マルチメディア応用専門委員会(SG16) ・セキュリティ専門委員会(SG17での連携) ・IoT・スマートシティ専門委員会 ・AI活用専門委員会 ・自動車関連団体との連携(JAMA、JSAE、JASPAR、ITS-Japan他)				
主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画)		2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件			
	外部会合への参加・連携状況	・CITS ・ASTAP			
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準				
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 ・V-HUB利活用ガイドライン改訂			
③ ダウンストリーム	数	TS制定: 0件 TR制定: 0件			
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・ 2回 (V-HUBガイドライン改訂セミナー、CEATEC2023)			
	記事投稿、講演会	・ TTCLレポート			